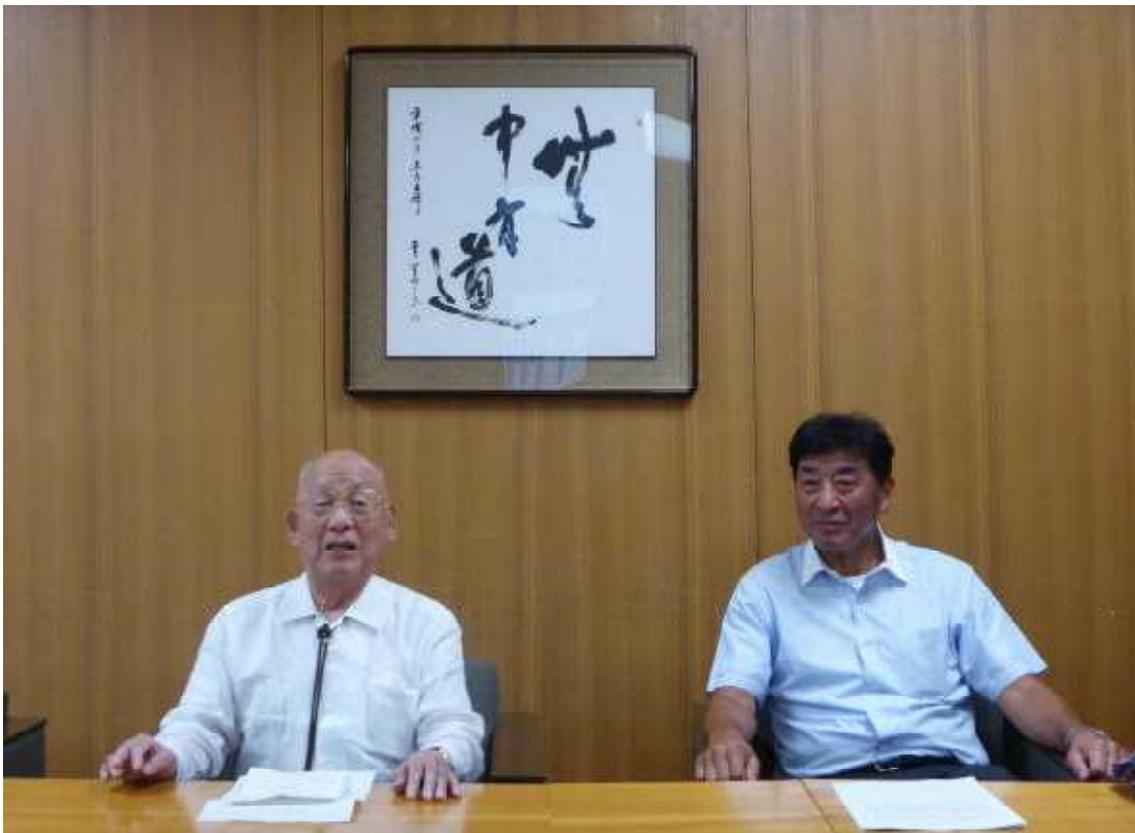


◆ 議長記者会見概要

日 時：平成30年7月3日（火）17：35～18：00

場 所：県議会理事者控室

出席者：川口正志議長、奥山博康副議長



川口正志議長

奥山博康副議長

〈就任にあたって〉

○川口議長

私、川口と、奥山議員の2人が新しく議長及び副議長に選ばれました。私どもは、気脈を相通ずる向きが多分にあると確信しています。

県政に関わる課題として、奈良市や生駒市等の北和地域は、面積が狭い割には人口の半数以上が集中しています。一方、吉野郡等の中南和地域は、面積は8割以上を占めますけれども、人口はごくわずかというのが現状です。全県的に均衡ある発展、持続可能な発展を目指す色々な組み立てが大事であると思っています。いにしえの昔、都は橿原を中心にあったので、「還都」、つまり都を還らせることを中心として奈良県政の発展という願いを、2月の定例県議会において県庁移転を求める決議として表していただいたので、そのような思いを推進してまいりたいと考えています。

私ども議員は、県政の発展のために、知事との関係にあつては、是々非々で、推進に重きを置いた形で物事を提案してまいりたいと考えています。つまり、意見の違いだけを述べるということではなく、意見の違いに対しては提案が必要であり、協調を図りな

がら、県政の発展を望むということです。県政・県議会運営においては、極力円満運営という方向で、努力したいと思っています。

国政は、国会議員が行政府の長である内閣総理大臣を選ぶ議院内閣制のため、民意は一元的に国会議員の選挙で表されますが、県政は知事と議員を別々の選挙で選ぶ二元代表制となっています。したがって、議会と知事が互いの存在の意義、権威というものを理解し合いながら、県政発展に努めていきたいと思っています。

マスコミの皆様のご協力をお願いしたいと思います。

○奥山副議長

副議長に選ばれた奥山でございます。初めての副議長ということで、身の引き締まる思いでございますけれども、川口議長を支えながら一生懸命頑張りたいと思っています。マスコミの皆様には、協力、助言も含めて、絶大なるご支援をお願いします。

私は、県議会議員になってから、県民にとって安心・安全な奈良県づくりを目指すことを第一に、議会活動をしてきました。

議会と知事の関係は、よく「車の両輪」と言われますけれども、私は「アクセル」と「ブレーキ」の関係と思っています。知事がアクセルを踏みすぎたときは、我々議会がブレーキを踏まなければいけない。我々がアクセルを踏んで、ハンドルを切り誤りそうときは、知事にブレーキ役をしてもらうという関係でやっていきたいと考えています。

先ほど川口議長から、全県的に均衡ある奈良県づくりというお話がありました。私は、代表質問等で、いにしへの藤原宮があった橿原市や飛鳥宮があった明日香村周辺に、「宮都物語」ということでしっかりと取り組むように言ってきました。そして、県庁の移転決議もされましたが、将来、特にリニア中央新幹線品川・大阪間の開業が見込まれる20年後に向けての奈良県づくりを、今やっておかなければいけないと思っております。

最後になりますが、荒井知事が「奈良モデル」を標榜しながら、一生懸命頑張ってくださっているのはよく理解しています。私も今年、10ほどの市町村を訪れて、県議会議員として市町村の課題を共有するよう努めてまいりましたが、この「奈良モデル」という枠組みにならないと予算的なバックアップが十分でないような気がします。市町村が本来的に取り組むべきところについても、県がしっかり支援してほしいと思います。

とにもかくにも、ベテランの川口議長の下で、私がどれだけ補佐できるかは分かりませんが、一生懸命頑張りますので、どうか皆さんご支援のほど、よろしく願いいたします。

<質 疑>

Q：正副議長選挙の結果を受け、会派の連携についてどのように見えていますか。

議長：票の問題ではなく、この4年間の任期の最後に、県政運営に関わるひとつの流れが整ってきたのではないかと見ており、大方の会派は、私どもの主軸になっている会派に協調する気持ちで、この選挙に臨まれたのではないかと考えています。票は分かれましたけれども、会派の存在を見せるための投票行動を、政治家としてされたと考えています。このため、選挙結果はこだわりのある内容ではないのではないかと考えており、過去3年間の議会運営に拍手を送ってくれたのではないかと、と他会派の皆さんの気持ちを捉えています。円満が大事で、争いは求めない。争いをつくらないように、マスコミの皆さんにも今後ご協力をお願いします。

Q：県庁移転の話ですが、県の関心を持ってもらうために議長としてどのようにしていきますか。

議長：ロマンをさらに広げていきます。私が初めて言ったわけではないですし、県議会議員だけが言っているのでもありません。多くの人たちが願っている内容でも、知事が言うようにお金がかかるとか、2/3以上の議員の賛成がなければ駄目であるという理屈で抑えてきたのが過去の歴史です。そういう意味では、半数以上の賛成で決議されたというのは大変意味のあることだと思います。

修理や建替が必要な時に合わせて県庁移転するという考え方もあるかもしれませんが、私は、マスコミの皆さんのご協力を得ながら、もっと早く県庁移転することの気運を広げていきたいと考えていますのでよろしくお願いします。

副議長：最後にひとつ申し上げます。今回の定例会で、議員定数を1人減らすことが議決されました。色々な議論はありましたが、議員の定数が1人減ることにより、県民の皆さんが不自由になったとか安心・安全の面で不安であると感じることがないよう、むしろ、良くなっていくように、川口議長と一緒に、県議会として一生懸命頑張っていかなければいけないと思っています。どうぞ今後ともよろしく願いいたします。